

“まずは1割” “さらに1割” ごみ削減運動

# ごみ削減マニュアル

## < 事業所編 >



事業所の先進的・模範的な廃棄物削減の取組事例はこちら

静岡県

# すべての事業所で

## ごみを捨てる前に

### 1. 「憩い」ごみを減らす方法を考え、実践する

ちょっと一服、楽しいランチ、午後のひととき...と職場では、これらの「憩い」からもごみは発生します。

こんな方法で減らせます。  
例えば、たまには手作り弁当を持参してみる。  
水筒に好きな飲み物入れて持参する。  
「憩い」ごみは家庭に持ち帰るなんて方法も。

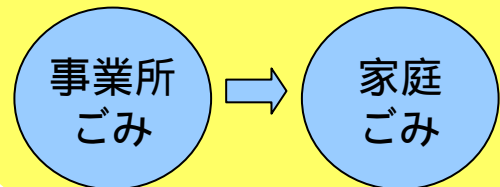
もちろん、自宅に持ち帰ったところでごみの全体量は変わりません。  
でも、自宅に持ち帰ることは、ごみ削減を考えるきっかけになります。

#### ごみは一緒に家に帰ろう

飲食くず(空き箱、PETボトル)  
タバコの空き箱、ビニール袋等

事業所で捨てれば

家庭に持ち帰れば



### 2. 紙を使う必要性を見直す

資料は紙で用意するもの。  
そんな既成概念はありませんか？  
情報の技術や機器が発達し、便利な時代になりました。

県内には、会議資料に紙を使用せず、プロジェクター等を使用する「ペーパーレス会議」を推進している事業所があります。

社内LANを使って、会議資料を個々の情報機器端末などで電子データとして取扱うことも不可能ではありません。

今、実践すべきは「すべてをペーパーレスに」ではなく、「できるところからペーパーレスに」なのです。



### 3. 省資源タイプの製品を使う

原材料を無駄なく使うように、事業所内の消耗備品も無駄なく使ってみませんか？

例えばトイレで ... 詰替ハンドソープやコアレス(芯無し)トイレットペーパーを使う。  
例えば事務室で ... 詰替インク(プリンター、ボールペン)や箱なしティッシュを使う。  
従来の電灯や電球に比べ長時間の耐用が可能なLED照明を使う。

必要な機能だけを買うことができる時代、身の回りの消耗備品を見直してみましよう。

# すべての事業所で

## 商品を納入するとき

### 納品用資材を変更する

原材料や製品といった商品を納入するとき、相手方の協力が得られれば、段ボールによる納品からプラスチックコンテナによる納品に切り替えましょう。

リサイクルされる段ボールが多いものの、やはりリサイクルされずに清掃センターなどで焼却処理されている段ボールがあるのも事実です。資源を無駄にしないためにも、再利用が可能な納品用資材に変更しませんか。

## ごみを捨てるとき

### 1. リサイクルを意識して分別する

ごみを出さないことが一番ですが、それでもごみは出るものです。

それならば、リサイクルされやすいように排出しましょう。

分別されずに排出されたごみをリサイクルするには、それを分別するためのコストを上乗せしなければならないので、リサイクル製品が高価になったり、リサイクルを断念しなければならなかったりします。

リサイクルのために分別はとても大切です。



### 2. 分別の「迷い箱」を設置する

分別に迷ったとき、どうしますか？

分別の誤りが、その後の資源としての利用価値を下げてしまうこともあります。

後でじっくり見定めて、正しく分別するために、迷い箱を設置することも大切です。

### 3. ごみの排出量を把握する

日々、事業所からどれくらいのごみを排出しているか知っていますか？

ごみの排出量を把握することから、ごみ減量は始まります。

# 飲食店や社員食堂で

## 生ごみを捨てる時

### 1. 水切りをする

生ごみの6割(重量比)は水分です。  
そのまま排出すれば、清掃センターまで運ぶにも、ごみ焼却炉で燃やすにも、効率はとても悪いです。

営業を終えたら翌朝まで、ザルやバケツで水切りすれば、生ごみの2~3割(重量比)を減量できます。

ごみを排出する側にとっても、ごみを処理する側にとっても、非常に有意義な水切りを実践しませんか。



### 2. 生ごみ処理機を使う

ザルやバケツよりさらに減量が期待できるものとして、生ごみ処理機があります。

生ごみ処理機には、加熱乾燥するもの、二酸化炭素と水に分解するもの、堆肥化するものなどがあります。

加熱乾燥するものでは、生ごみを7~10分の1(重量比)にまで減量します。

処理物はさらさらの土のようで、取り扱いも良好です。

二酸化炭素と水に分解するものでは、処理後に残るものがないので、ごみ減量の点においては理想的です。

堆肥化するものでは、処理物である堆肥を事業所内の花壇や菜園などで使用しています。



## ごみを出さない工夫

### 繰り返し利用が可能なはしを採用する

使い捨ての原因となる割りばしの利用をやめ、繰り返し利用が可能なプラスチック製のはしなどを利用することで、ごみを減量することができます。



# 工業団地や商業団地で

## ごみを捨てる時

### 団地内で発生するごみを事業所全体で調べる

個々の事業所から発生するごみの状況を把握したら、次は団地内にある事業所全体から発生するごみの状況を調べてみませんか。

個々の事業所から発生するものが「ごみ」であっても、団地内にある事業所全体から発生するものならば「資源」となることもあります。

放置された1本のPETボトルも、多量に集まれば立派な資源となります。

## 紙ごみを捨てる時

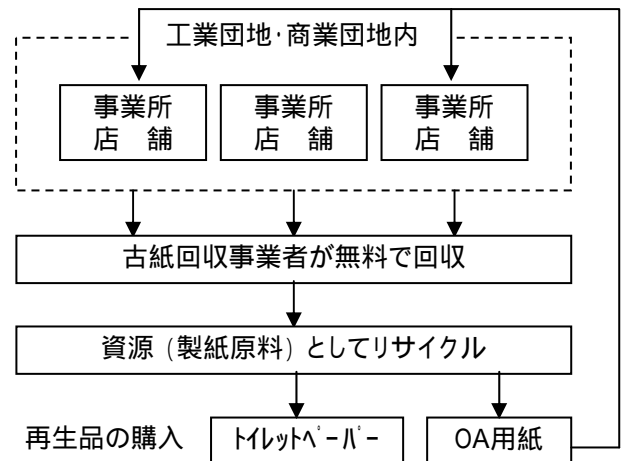
### 古紙回収を利用する

県内のいくつかの工業団地などでは、団地として古紙回収に取り組んでいます。

団地内に指定場所を設けて、定期的に古紙回収事業者が無料で古紙を回収しています。

団地内の事業者にとっても、古紙回収事業者にとってもメリットのある、Win-Win関係のもと取り組みは続いています。

周囲の事業所と一緒に始めてみませんか。



## 処理を委託するとき

### 団地内にある廃棄物処理事業者を利用する

団地内に廃棄物処理事業者がある場合、この事業者を利用することで、廃棄物の運搬距離を短く抑えることができます。

運搬コストの節減となるだけでなく、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の発生も少なくて済みます。

さらに、廃棄物処理事業者で処理されたものを団地内で利用できれば、団地内完結型の処理が実現します。

これからの廃棄物処理、そして団地のあり方として、期待はますます膨らみます。

# 外国の方が一緒に働く職場で

## ごみを捨てるとき

### 1. 誰にも分かる親切な表示をする

日本人同士であっても、ごみ分別のルールを発端としたトラブルは起こります。異なる文化や言葉をもつ外国の方となら、その心配はより一層です。

無用なトラブルは避けたいもの。

一緒に働く外国の方のために、ごみ箱には「図」や「言葉」を添えませんか。

図だけでは伝わらず

その後の利用を考えて、  
分別が細くなる



図だけでは分別を伝えきれない

一緒に働く外国の方の  
ための文字表記も大切



### 2. 市町のごみカレンダーを参照する

事業所のある市町では、各種外国語（英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語）のごみカレンダーなどが用意されていることがあります。

市町によりごみ出しのルールが異なることがありますので、従業される方の住居地と勤務地の市町が異なる場合には、いま一度確認されることをおすすめします。

また、ごみカレンダーなどでは、（事業系）一般廃棄物と産業廃棄物の区別を記載していることもありますので、注意が必要です。

ごみに関する情報が満載の、ごみカレンダーなどを必要とされる方は、事業所のある市町の環境関係担当課まで連絡してください。

ごみはルールにしたがって、正しく出しましょう。



県内市町のごみカレンダーの一例

# 販売・飲食・宿泊施設の事業所で



## ふじのくに エコショップ宣言

あなたのお店のエコをPRしませんか!?

ふじのくに  
エコショップ  
とは?

静岡県内の販売店などが行うエコ活動を、  
多くの消費者に知ってもらうため、  
「ふじのくにエコショップ宣言」をスタートします。  
登録いただいたエコ情報は、HPを通じて消費者にPRします。

対 象：販売店、レストラン・飲食店、ホテル・旅館

### 環境にやさしい取組の例

マイバッグの持参を  
呼びかけています!



マイはし、  
マイボトル等の利用を  
推進しています!



食べ残し削減の  
工夫をしています!



繰り返し利用可能な  
アメニティグッズを  
使用しています!



地産地消に  
取り組んでいます!



↑HPイメージ

### 登録するメリット

1. 県は、ふじのくにエコショップを環境にやさしいお店として消費者へPRしていきます。
2. 専用ホームページに、お店の登録情報が記載され、多くの人にその内容をお知らせします。
3. 登録店には、シンボルマークがデザインされたステッカー、登録証をお送りします。また、表彰もあります。

登録はこちらから  
<http://ecoshop.pref.shizuoka.jp/>

“まずは1割” “さらに1割” ごみ削減運動

あなたのライフスタイルをチェック!!

<p>Attitude 心構え</p>	<p>環境に負担をかけないよう心がけている 「もったいない」が合言葉になっている 事業所から発生しているごみの量を把握している エコマークを商品購入の参考にしている</p>
<p>Reduce 発生抑制</p>	<p>物品を購入する時は、簡易包装を相手に求めている 耐久性や使い勝手など十分に審査し、不要なものは買わない 両面コピーを利用するなど、紙の使用量を削減している 詰め替え製品をよく使っている 物は修理して長く使っている 印刷物・文具等の発注時には、必要な量だけ購入している</p>
<p>Reuse 再利用</p>	<p>社内や関係者で、不要品を融通しあっている 不用品をフリーマーケットやリサイクルショップなどにまわしている リサイクル品を利用している リターナブルビンなど、再使用ができる容器を購入している 会議では、ペットボトルなど使い捨て容器は使用しない</p>
<p>Recycle 再生利用</p>	<p>ごみの分別を徹底している お菓子の箱や包装紙は、燃えるごみではなく「雑がみ」の回収に出している 生ごみを堆肥にしている</p>
<p>判定法</p>	<p>16個以上 … excellent (素晴らしい) 11～15個 … very good (非常によいです) 3～10個 … good (よいです)</p>

